

重層的な社会問題を 地域コミュニティの連携で

2000年に介護保険制度が始まり、2007年には日本の高齢化率(65歳以上の人口の割合)が21%を超え、さらに2022年には1947年生まれの団塊の世代全員が75歳以上になったことで29.1%まで上昇しました。さらに後期高齢者が今後も増え続けると言われています。2024年度の介護保険制度の見直しで、介護報酬率が引き上げられ、高齢者の負担が増えています。それだけではなく、高齢者の置かれている現状や重層化した課題について、堺市の社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会委員もされている「社会福祉法人 美木多園」理事長の西尾正敏さんにお話を伺いました。

(聞き手:福祉担当常務理事 前田 美佐代)



社会福祉法人 美木多園(堺市南区)
理事長

西尾 正敏さん

2025年になった今、 高齢者の置かれている現状

前田 団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)になり、医療介護の社会保障費の急増や介護人材不足が顕在化するなどと言われている2025年になりましたが、今、どんな問題が起こっていますか。

西尾 もう何年も前から「2025年問題」に関して議論されてきましたが、コロナ禍という予想していなかった事が起こり、問題の年になってしまった。何も変わっていないように思いますが、社会状況や生活の在り方も知らない間に変わってしまったているが、それでも少しずつ順応できており、なんとか頑張っている状態です。南区の高齢化率は堺市平均より高く、市外から堺市に移ってきた方も多くて人口バランスが樽型でなく寸胴型になっています。堺市全体で言うとしばらく高齢化率は変わらないです。これからの「2040年問題」も私はそれほど悲観していません。

ただ、以前より困窮した人は増えています。これからは独身者が増え、結婚しても子どもを生まない方が増えてくる傾向が高くなり、将来介護状態になった時にどのような支援をして

いくのかも課題となっていくと思います。

複雑化・複合化した支援ニーズ

前田 どのような支援が必要となるのでしょうか。

西尾 福祉の支援の厚さで言えば、1番目高齢者、2番目障がい者、3番目が子どもとなっています。それは、子どもの支援が最後になっているのは保護者がいる前提で考えているからですが、今はその保護者や家庭が困っているから子どもも困った状態になっています。

高齢者支援に比重を置きすぎると社会的負担をかけることになるので、他の支援とのバランスが重要です。今後も福祉の拡充の話はどんなでてきますが、国は重層的な社会支援を打ち出していますが概念でしかなく、各自治体の特性に合わせたやり方で組み立ててもらったらいとお任せ状態になっています。

公的なところは、先に子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者といった分野別の支援体制のネットワーク組織を作ってそれぞれに関わらせようと考えていますが、協力体制が作りにくく、また各分野のテリトリーから出ることができず、重層的な支援になり得ていません。例えば、要介護1の祖母とケガをして働けない父、障がいの疑いがある母、ヤングケアラーの子どもという家族がいて、父が虐待をした場合、障がい者・児童・高齢者のそれぞれの支援体制とつながる必要があります、加

害者も困窮状態であれば生活保護の対象になり、それこそ重層的な支援が必要となります。

地域の中で誰かとつながる

西尾 次は団塊ジュニア世代が65歳以上になることにより、財源不足だけでなく、社会制度そのものの存続も危ぶまれる可能性が生じると言われている「2040年問題」がやってくると言われているが、平均余命が2025年より伸びて元気に過ごされているのではないかと思います。その時に安心して暮らしていくために、SNSやメールなどでもいいので、人とつながることをしてほしいです。社会参加していることにもつながります。独居高齢者の場合、知り合いだけでなく介護関係者や毎日コンビニでお店の人と挨拶を交わすことで、ものの時の通報者になった事例があります。濃厚なつながりで無くても、日頃の出会いを大切に接点を持つことが重要です。一人ひとりが優しい心で見守ることが地域を良くしていくことにつながるのだと思います。

前田 エスコープ大阪は、地域でのたすけあい活動から福祉事業がスタートしました。いつまでも地域で自分らしく暮らしていけるために、事業団体ひとつ一つの力は弱いですが協力し合い、重層的な支援体制をすすめていきたいと思っています。

誰もが住み慣れた地域で 安心して暮らせるように

日本の高齢者人口が14%を超えたのは1995年、2010年には23.0%となり、21%を超えたことで超高齢社会に入ったとも言われています。医療分野の発展や生活の変化などで日本の平均寿命は2020年時点で男性が81.56歳、女性が87.71歳と長寿となり、その後平均寿命が延び続け、高齢者人口の割合は28.9%と3割に迫る

勢いとなりました。（内閣府令和4年版高齢社会白書参照）

高齢化率は上昇し、高齢者同士の介護、ダブルケア、8050問題、社会的孤立等、高齢者を取り巻く問題は多種多様で、複合的になるケースもみられます。また現役世代の割合は低下するなかで、自分らしく暮らすには自助に加えて共助・公助の支えが必要になります。

エスコープ大阪が福祉を 始めて間もなく30年

1995年の阪神淡路大震災で、交流のあった「生協都市生活（現・生活クラブ生協都市生活）」を通じて、組合員や職員が現地で炊き出しなどの救援・支援ボランティア活動に参加し、組合員から仮設住宅の足ふきマット用タオルの提供を募り、救援活動をおこないました。これらの活動から、改めて地域コミュニティの大切さに気づき、1996年を「福祉元年」とし、福祉出前講座を各地域でおこない、組合員が担い手となったたすけあいの仕組みづくりを始めました。翌年から福祉ワーカーズ・コレクティブを各地域につくる活動をおこない、2000年に介護保険制度が施行されると、介護保険事業の認可を取得して、エスコープ大阪サポートセンター（SOS）を立ち上げました。2003年には支援費制度（現・障害者総合支援法）が施行され、障がい福祉サービスも始めました。

エスコープ大阪の 福祉事業の今

高齢化は組合員にも進んでおり、特に泉北ニュータウン地域と河内長野・大阪狭山地域では後期高齢者の割合が泉北ニュータウン

● SOS 事業所とサービス内容

事業所名	住所	電話	ケアプラン	訪問	居宅・移動	生活介護
SOS泉北	堺市南区小代727	072-293-4640	●	●		
SOS河内長野	河内長野市西片添町12-9	0721-60-2230	●	●	●	
SOSケア・ピース	堺市南区茶山台3-22-2-109	072-294-6405			●	
ピース八田西	堺市中区八田西町2-10-18	072-277-7140				●

地域は4割、河内長野・大阪狭山地域は3割を越えそうな勢いです。このように、ますます支援を必要とする組合員が増えていくことが予測されますが、現場は重なる介護報酬改定による訪問介護の基本報酬の単価引き下げの影響や、訪問ヘルパーを中心に介護職員の人材不足などにより、事業収入が減収してしまっているという状況です。

コロナ禍以前と比べ、障がい者支援事業は利用者の利用控えにより事業収入が大きく減少したままです。固定経費（常勤職員の人件費や建物などの物件費）の割合の高い施設事業（ピース八田西やグリーンピース光明池）が赤字構造になっています。特にグリーンピース光明池は、利用者（親）の要望がエスコープ大阪の取り組み方針に合わなくなったり、資格を有するスタッフ確保が困難になり事業収入が大きく減少したため、2022年度で閉所しました。ピース八田西の通所事業も常勤看護師が採用できておらず、女性の介護員も不足しており、ギリギリの人数で運営しています。

介護保険事業も、地域包括支援センターや他の居宅介護支援事業所のケアマネジャーから新規の依頼はたくさんありますが、現在のヘルパーの人数、高齢化のため現状の訪問時間数を増やすことはできないためお断りしている状況です。ケアマネジャーやヘルパーは資格が必要なこともあり、採用がますます難しくなっています。

5年後10年後、果たしてどうなっているのでしょうか。これまで当たり前と思っていたことが当たり前でなくなることは明らかです。最優先課題として、福祉事業収入を安定化させるため、人材確保をすすめていきます。

組合員同士の たすけあい

福祉事業の他にも、行政が対応できない個別の要望に寄り添うワーカーズ・コレクティブや組合員同士のたすけあいの仕組み「エッコロ制度」があります。いつまでも誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせることをめざして、これからも組合員や地域住民の理解と協力をひろげて、住みやすい地域づくりをすすめていきたいと思います。

● SOS スタッフ数（人）

事業所名	2013年度	2015年度	2017年度	2019年度	2021年度	2023年度
SOS泉北	29	24	22	18	18	14
SOS河内長野	21	20	15	12	9	9
SOS金剛	31	31	NPO 法人ワーカーズはんどに移管			
よりあい金剛	29	22				
SOSケア・ピース	55	49	38	35	31	29
ピース八田西	33	29	33	26	21	25
ピース光明池	16	5	ピース八田西に統合			
グリーンピース	16	10	9	9	4	閉所
合計	230	190	117	100	83	77

泉州地域
バスボムづくりと
ナチュラルクリーニ
ング交流会

2024年12月9日(月)
南海浪切ホール
(岸和田市)

泉州地域 環境パートナー
石澤 朋枝

ナチュラル素材で
お掃除しよう

型やキャラクターの型に入れて
作ったり、皆さんそれぞれ思い
思いにたくさん作ることができ
ました。バスボムを作ったこと
のある人からは、「お風呂に入れ
ると、炭酸のお湯になるので、疲
れが取れる感じがします」との
話も聞けて、出来上がりがいっ

そう楽しみになりました。

泉州地域の環境委員会ではバスボ
ムづくりと地球環境についての交流
会を開催しました。組合員7名とお
子さん3名が参加しました。
バスボムはエスコープ大阪の消費
材にもあるクエン酸と重曹を混ぜて
作ります。体にも自然にもやさしい
材料のできるので、お子さんも一緒
に安心して作ることができ、皆でにぎ
やかに楽しく作ることができました。

楽しく作った後は、バスボムを固め
る時間を利用して、合成洗剤を使わ
ずにナチュラルな素材を使ったお掃
除術についての意見交換をおこな
いました。グループに分かれて話し合
った後、グループ内で出た意見を表
し合、「重曹を使って掃除や茶渋取り
をしている」「セスキ炭酸ソーダを
色々などところで使っている」など、知

市販のバスボムの着色料と香
料が気になる方にも、植物由来
のバスオイルや食用色素を
使って作ることができるので
「香りがいいな」「こんな色に
なった!」と、皆さん楽しんで
作っていました。お孫さん用
に小さいおもちゃをバスボム
の中に入れて作ったり、ハート



らなかつた使い方やお
掃除術を知る良い機会
になりました。
幅広い年齢層の方が
集まって一緒に楽しく、
お掃除や環境のことを
知り、考えるきっかけと
なる、とても良い交流会
となりました。

泉北ニュータウン地域
店舗運営会議

城山台Do(堺市南区)

泉北ニュータウン地域理事
新家 晴子

店舗「城山台Do」を
盛り上げよう!

店舗地域では理事の

不在が続き、地域委員会としての活
動が難しくなり、総代会で承認を得
て、昨年秋季より店舗組合員は泉北
ニュータウン地域と一緒に活動する
ことになりました。

毎月1回、店舗事業担当常勤理事、
店長(W・C・O・W・I・T・H)、地域理事に
よる店舗運営会議を開いて、店舗の
企画やイベント報告、地域委員会の
活動報告や、どんな店舗にしようか
など意見を出し合っています。「量り
売りができるお店がいいな」「お惣
菜を買えるお店にしたいな」など、い
ろんなアイデアが飛び交っています。

これまでは金魚くじ引きや健康
ジュースの試飲など、店舗でのイベ
ントと一緒にこなったりしました。
今後は、店舗の調理場を利用して、簡



単に作れるカップケーキ作りなど、
高齢の一人暮らしの組合員や子育て
世代の組合員にスポットを当てた取
り組みも計画していきます。将来的
には、店舗から出る食品ロスを利用
したお惣菜販売や店舗での飲食ス
ペースの設置、店舗タクシーなども
検討していきたいと思っています。
泉北ニュータウン地域ではこれから
さらに店舗を活用し、店舗を盛り
上げていきます。パワーアップす
る城山台Doにぜひご期待くださ
い。

店舗は、エスコープ大阪の組合員
なら誰でも利用することができま
す。ぜひ一度足を運んでみてくださ
い。カタログには載っていない消費
材もあります。特に店舗組合員の皆
さん、店舗での企画に参加したり、一
緒に運営をしていきましょう!

コットンサークル

活動日:毎月第2水曜日
会場:南八下地区公民館
(堺市東区)

「コットンサークル」代表
井筒 利美

ふわふわのコットンと
癒やしの時間を

私たちコットンサークルは、現在組
合員5名で活動しています。

棉(わた)には、和棉・洋棉、色も白・
茶・緑といろいろあります。毎年5月
10日の「コットンの日」に種をまき、和
泉市にある貸農園や各自宅のプラン

ターなどで育てています。暑さにと

もにぐんぐんと木が育ち、
夏に黄色や赤のきれいな
花が咲くのは栽培中の楽
しみのひとつで、その後丸
くかわいい実がついて弾け
たらフワフワのコットン
ボールになり、秋に収穫し
ます。

収穫した棉は種を取り



(棉くり)、カーダーというブラシのよ
うな道具で繊維の向きを整えたらス
ピンドルやチャルカで糸に紡いでい
きます。左の写真は昨年購入したボツ
クスチャルカで、コンパクトで持ち運
びできる糸車
です。慣れて
くると、楽し
く早く糸を紡
げるようにな
ります。

こうしてで
きた糸は1年
に1回ベンガ

ラ染めなどでいくつかの色に染め、織
り機で織ったり、かぎ針で編んだり、
各自好きな作品に仕上げます。ここ
からは個性が出て、出来上がるものは
色も形も全部違って、巾着袋やモ
チーフなど柔らかくふわふわの手触
りも魅力です。

私たちの活動は月に1回、集まって
ゆったりおしゃべりしながら手を動
かしています。種まきから始まる棉
作りから作品完成まで、たくさんの方
程を協力しながら活動中です。ご興
味がありましたらぜひご連絡くださ
い。お待ちしております。



「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

vol.23 『組合員の自主運営組織』

生活協同組合であるエスコープ大阪の組織運営について、隔月で連載します。

●「他人まかせにしない」
3つの大切なこと

これは、以前からエスコープ大阪の組合員加入
時の案内やパンフレットに記載されている言葉で
す。3つとは何か覚えていますか。「みんなで出資」
「みんなで利用」そして「みんなで運営」です。「お
おぜいの私」が集まって、自分たちが望むことに向
かって自分たちで事業をおこなっています。出資
と利用はしているけれど、運営に直接関わったこ
とがない方が多いのではないのでしょうか。

エスコープ大阪の最高決議の場である総代会
が開催されます。そこでエスコープ大阪の活動事

業の2025年度の方針を組合員の代表である総代
が判断し決定します。

総代を決定してから、各エリアの地域委員会では「2025年度方針・活動計画を地域組合員で確認
する会」を開催します。長い名称ですが、組合員が
責任をもって決めて実行にかかわるスタンスを明
確に表そうと組合員理事たちが決めました。地域
委員会からの提案について地域の組合員が発言し、
みんなで方針と活動計画を確認します。もちろん組合
員の大切なお金の使い方についても確認します。

開催後、各地域委員会では地域組合員の意見を
地域委員会意見とするか話し合います。その結果

をもって地域組合員組織の役割者である地域理
事が集まって話し合い、最終のエスコープ大阪方
針案を理事会で決定します。6月10日のエスコー
プ大阪総代会では理事会から総代に方針案を提
案し、総代が2025年度のエスコープ大阪方針に
ついて判断(決議)します。

●まずは参加してみよう!

「よくわからないなあ」という方も、まずは「確認
する会」に参加してみてください。地域委員は同
じ地域に暮らす組合員。ぜひ同じ生活者同士、暮
らしの中でのいろいろな悩みや消費材についての
意見要望などを話してみてください。組合員同士
だからできる話もあるはず。「こんな学習会
がしたい」「こんな料理講習があれば」「地域にこ
んな場所がほしい」など、みんなで話し合ってみま
せんか。



第8回
理事会報告 <2月5日>

【12月度決算報告】

- 供給高 2億8,218万円
(前年同月比103.2%)
- 組合員数 18,698名(前月比+4名)
- 一人当たりの出資金 93,310円

【1月の放射能検査結果】

1月は連合消費材529検体、関西消費材6検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①総代選挙の実施について
- ②全体区・地域区の役員推薦委員会の決定について
- ③退職金規定の改正について(エスコープ大阪サポートセンター、嘱託、契約、パート職員除く)

【協議事項】

- ①2025年度追加・修正方針案
- ②2025年度全体・地域活動計画と予算の決定
- ③4月基礎研修について
- ④「上和田草取り交流会」まとめ
- ⑤「推進者対象みかん狩り」まとめ
- ⑥「よやく・る ふじ」の取り組みまとめ
- ⑦2025年度「グリーンシステム」活動案と連合会の容器別回収率目標
- ⑧南河内地域委員会の予算外企画について
- ⑨「エスコープまつり2025」生産者候補について
- ⑩「おちゃのこ菜々」の作成について
- ⑪『立川米』の価格改定
- ⑫エアコン・ハウスクリーニングの値上げ改定

【報告承認事項】

- ①生活クラブ連合会2024年度活動報告、2025年度活動方針事務局案への単協意見提出
- ②政策討論集会への参加について

【訂正とお詫び】

りっぷる265号1面 梶本さんのお名前に誤りがありました。正しくは梶本美都子さんです。誠に申し訳ございません。

編集後記

日本の高度成長を支えた「団塊の世代」全ての人が75歳以上の後期高齢者となり、高齢化がさらに進むと言われた「2025年問題」。まだ先のことと思っていたのに今年がその2025年です。生協としてこの課題の解決に向けて動くことはもちろんですが、個人としてもきちんと情報を得て備えていきたいと思います。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151 堺市南区小代727
TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022
<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/>



ワーカーズ・コレクティブ紹介

～誰もが安心して自分らしく暮らせる地域をめざして～



市寺池台にある空き家を借りる話がありました。生協が介護保険事業をするのに借りることに
なり、はんどは2階に事務所をもつことができた。実費をい

ただいて週2日のミニデイサービスを開始しました。「大阪ガス」の補助を受けてガスコンロを設置、昼食も提供するようになりました。2003年にエスコープ大阪が「よ

私たちの活動の基本は、設立趣意書です。生協から移管を受けて、この場所が自分たちの場所という意識を持つようになりましたが、思いも引き継いでいきたいと思っています。そのため、これからどのような組織形態がいいのか、みんなで試行錯誤しながら進んでいきたいと思っています。そして、これからもワーカーズを立ち上げた時の気持ちで、みんなで一緒にがんばっていきます。

誰もが安心して自分らしく暮らせる地域を実現するには、地域で活動する団体との連帯は欠かせません。そこで、隔月で、エスコープ大阪関連のワーカーズ・コレクティブ(以下、ワーカーズ)に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ

はんど

(富田林市)

エスコープ大阪主催の3級ヘルパー講座、2級ヘルパー講座を修了した人が集まって、1997年11月に「ワーカーズ・コレクティブはんど」を設立しました。最初は太子支所に電話を置いて、生協の先輩たちが立ち上げた「ネットワークう」等に見学に行き、自分たちのできる家事支援や子育て支援、働く女性の支援を有償ボランティアで始めました。

介護保険事業が始まると、はんどは法人格を持つていないので、制度サービスはエスコープ大阪の福祉事業として、制度外サービスははんどとしておこなってきました。しかし、自分たちで介護保険事業をおこないたいという思いはずっと持っており、2013年にNPOの法人格を取得し、デイサービスを

2016年に生協から「よりあい金剛」の移管の話をいただきました。メンバーで何度も会議を繰り返しましたが、とても重圧を感じましたが、がんばったらがんばっただけ成果につながる、これまで以上にできることが増えると考え、移管を受けることにしました。しかし、働いていたメンバーはSOS(エスコープ大阪サポートセンター)に雇用されたメンバーが多かったため、ワーカーズの働き方、考え方の理解を求めるのが大変でした。ワーカーズは仲間と力や資金を出し合い経営していく働き方です。生協で雇

ワーカーズ・コレクティブを 次にどうつなげるか

2016年に生協から「よりあい金剛」の移管の話をいただきました。メンバーで何度も会議を繰り返しましたが、とても重圧を感じましたが、がんばったらがんばっただけ成果につながる、これまで以上にできることが増えると考え、移管を受けることにしました。しかし、働いていたメンバーはSOS(エスコープ大阪サポートセンター)に雇用されたメンバーが多かったため、ワーカーズの働き方、考え方の理解を求めるのが大変でした。ワーカーズは仲間と力や資金を出し合い経営していく働き方です。生協で雇

おたよりネット



「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

262号1面「居場所を道具に地域の子どもたちの応援を」を読んで

大阪市南・中河内地域 Bさん

日本の小学校を含む学校教育は、海外と比べるとまだまだ個性を自由に発揮できないように感じます。学校嫌いな子どもたちの第3の居場所はとても大切だと思います。日本全体がもっと生きやすい社会になってほしいです。

262号1面「居場所を道具に地域の子どもたちの応援を」を読んで

南河内地域 Hさん

子どもたちを取り巻く環境が厳しさを増す中、地域で子どもたちを守るという行動は大切。エスコープ大阪はその地域に必要と思ってもらえるような活動が求められていると思うので、各地域でされている居場所づくりがもっと大きな活動となればよいと思います。

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
266号(2025.3.24)